

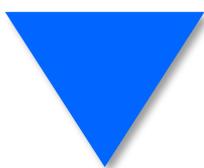
NAKAO 2023



中尾校区 第一次

ふくしのまちづくり計画

みんなが安心して暮らせる
支え合いのまちづくり



2027

ごあいさつ

中尾校区社会福祉協議会は「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を目指し、地域の関連団体と連携して、幅広い年齢層を対象に活動してまいりました。

特に地域住民が主体となって実施している「ふれあいネットワーク活動」は1994年（平成6年）に活動をスタートし、「サロン事業」は誰でもできるニュースポーツ（五目お手玉など）ときたきゆう体操を行っています。

このたび「小地域福祉活動計画」を策定するにあたり、地域福祉を担う関係団体の協力を得て、地域の福祉課題について何度も協議を重ね、課題解決に向けての活動計画をまとめて、当校区の指針が確立されました。

当校区の高齢化率は33.3%と、八幡西区の平均を若干上回り、一人暮らしの高齢者が増えています。福祉の分野でもAIの活用が広がりつつありますが、ai（愛）はもっと大事で、人と人とのつながりが重要です。この計画の推進にあたり、コミュニケーションをしっかりと、ai（愛）のある活動を忘れず、地域全体で目標を達成するために努力してまいります。

最後に、この計画の策定にあたり、関係者のみなさまの絶大なご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

2023（令和5）年3月



中尾校区社会福祉協議会
会長 金田 裕美子

もくじ

第1章 計画策定にあたって	1
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第2章 中尾校区の現状と課題	2
1 地域の特性	
2 地域の福祉課題	
第3章 計画体系	3～6
1 基本理念	
2 基本目標	
3 実施項目（体系図）	
4 重点実施項目	
第4章 計画の推進	7
1 地域への計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	
3 第二次計画の策定	
参考資料	8～9
1 策定委員会委員名簿	
2 策定委員会での協議事項	



第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、中尾校区の様々な福祉課題を解決するために、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、中尾校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び市・区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市の「地域福祉計画」及び北九州市・区社会福祉協議会が中心となって策定した「地域福祉活動計画」と整合性を図りながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 中尾校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有した計画です。

2 計画の期間

2023（令和5）年度～2027（令和9）年度までの5カ年とします。ただし、計画期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

中尾校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、中尾校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置し、中尾校区小地域福祉活動計画を策定しました。



✿策定委員会の様子✿



第2章 中尾校区の現状と課題

1 地域の特性

	2002（平成14）年	2012（平成24）年	2022（令和4）年
世帯数	3,133世帯	3,440世帯	3,465世帯
人口	7,695人	7,444人	7,061人
14歳以下	954人（12.4%）	975人（13.1%）	974人（13.8%）
15歳～64歳	4,632人（60.2%）	4,103人（55.1%）	3,736人（52.9%）
65歳以上	2,109人（27.4%）	2,366人（31.8%）	2,351人（33.3%）
市民センター	中尾市民センター	小学校・中学校	中尾小学校・沖田中学校
地域包括支援センター	八幡西5	特別支援学校	八幡西特別支援学校

中尾校区は、八幡西区のほぼ中央西寄りに位置し、交通の拠点である黒崎からも折尾からも約5kmとほぼ等距離です。中央に流れる金山川周辺の田園地跡の平坦部分と、その周辺の丘陵地が平地の中心部を囲むようにして出来ており、ややすり鉢状の形をしています。

交通の便は、筑豊電鉄や西鉄バスが走っており、幹線道路は国道が縦横に通っています。また、区役所の出張所や消防署の分署、郵便局、病院、大型スーパー、ホームセンターなどが数多く存在し、利便性に富んだ地域です。

金山川には鴨や鷺、鯉が生息し、その川辺の遊歩道には桜並木が数キロに渡って整備されており、憩いの場、ウォーキングコースとして地域住民に親しまれています。

2 地域の福祉課題（及び小地域福祉活動の課題）

●福祉に関心をもってもらいたい

少子高齢化や住民同士のつながりが希薄な中、さまざまな福祉の困りごとを抱えた人など、見守りを必要とする世帯が増えています。また、校区の活動者が高齢化し、後継者が不足しています。中尾で起こっている福祉の課題にもっと関心をもってもらい、自分の地域の問題は自分たちで解決する風土づくりを広げていきたいと思っています。

●社会福祉協議会（社協）のことを知ってもらいたい

社会福祉協議会は、高齢の方や子ども、障害をお持ちの方や経済的困窮の方などさまざまな福祉の困りごとを抱えている人を地域住民で支え合う活動を行っています。

多世代で交流する機会などを増やし、社協の活動や想いを知っていただくことで、若い活動者や応援者を増やしたいと思っています。

●いろんな人が集える交流の場を増やしたい

中尾校区では、市民センターや中尾小学校などを活用してサロン活動や子育て支援、世代間交流などを行っています。現状は誰もが気軽に集える場が少ないため、今後は身近な場所に増やし、イベント化していくことで住民同士のつながりを強化したいと思っています。



第3章

計画体系

1 基本理念「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」

中尾校区では、子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願っています。その実現に向けて、基本理念と5つの基本目標、それに基づくさまざまな取り組みを定めました。

2 基本目標

(1) 学び合い、地域の結束力を強めよう

各関係機関・団体に、連絡調整会議、班会議への出席を呼びかけ、話し合いの場の充実を図ります。また福祉協力員研修などを行い、地域全体で、誰一人取り残さないきめ細やかな見守り活動を行い、安心して暮らせる支え合いのまちを目指します。

(2) 世代間のつながりを広げよう

地域の小中学生がボランティア活動に参加できる場や多世代が交流する場を増やすなど、住民同士が触れ合いながら、世代間のつながりを強めていきます。また、家庭教育学級を支援するなど、未来を担う子どもたちを地域で育む豊かな環境をつくれます。

(3) みんなで福祉の風土を深めよう

各行事を通じて住民間のつながりを深めるために福祉活動の広報啓発や次世代を巻き込んだ福祉の風土づくりに努めます。

(4) 地域の文化をつなげよう

歴史ある地域の行事の盆踊りや慰霊祭、どんど焼きなどを継続し、次世代への文化の継承に努めます。

(5) みんなで健康づくりの輪を広げよう

いつまでも健康で生き生きとした生活が送れるよう、さまざまな健康づくりに取り組み、健康寿命を延ばす活動を継続していきます。



3 実施項目（体系図）

基本理念 みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり	基本目標	主な取組み
	学び合い、地域の結束力を強めよう	重 ふれあいネットワーク活動の再構築 ・福祉協力員研修会（社） ・社協連絡調整会議（社） ・ふれあいネット班長会議（社） ・市、区社協研修会（社） ・防犯パトロール（自・ま） ・ボウリング（自） ・新年交流会（ま） ・バスハイク（自・ま） ・金山川みんな鯉来いこいのぼり（ま） ・金山川清掃（自・ま） ・年末自主防災（自・ま） ・生涯学習市民講座（セ）
	世代間のつながりを広げよう	重 次世代の地域福祉活動の担い手の育成と発掘 ・瀬板の森三世交流ウォーキング（社） ・ちびっこギャング（セ） ・こすも児童クラブ作成年賀状配布（社） ・さくらまつり（ま） ・三世交流グラウンドゴルフ（自） ・なかおカラフルキッズ（セ） ・家庭教育学級（セ） ・三世交流もちつき大会（ま） ・三世交流金山川観桜ウォーキング（ま） ・生活安全パトロール（ま） ・三世代ニュースポーツ（ま・社）
	みんなが福祉の土を深めよう	・募 金…日赤（自）、赤い羽根（社・自）、歳末たすけあい（自）、社協賛助会員募集（社） ・広報…市政、県政、センターだより、センターホームページ、まち協、社協、自治区会の会報、防犯防災、民生委員等会報 ・敬老会（自） ・交通災害共済（自） ・人権市民講座（セ） ・フリースペース tette（セ） ・公園愛護会（ま） ・班別交歓会（社） ・花咲く街かどづくり推進事業（ま） ・一人暮らし年長者交歓会（社） ・のびのび赤ちゃん訪問（民） ・沖田中主任児童委員プリント配布（民） ・中尾小新入生保護者説明会で主任児童委員紹介（民） ・新一年生ヘラントセルカバー贈呈（社・民） ・65歳以上の見守り、手助け、「お元気ですか？」配布（社）
	地域の文化をよみがえそう	・慶弔金給付（自） ・慰霊祭、盆踊り（自） ・どんど焼き（自・ま） ・アートギャラリー（自） ・センターまつり（セ・ま・自・社）
	みんなが健康づくりの輪を広げよう	・サロン活動（社） ・センター健康講座（セ） ・ペタンク（ま） ・健康だより発行（ま） ・健康づくり事業（ま） ・健康講座（ま） ・吉祥寺藤まつりウォーキング（ま） ・きたきゅう体操（ま） ・新春三社参りウォーキング（ま） ・体力測定（ま） ・健康相談（ま） ・ウォーキング（ま）

重 とは、「重点実施項目」のことです。今回定めた基本目標を達成するために、特に関係団体・機関と連携して重点的に進めていく事業です。

【凡例】

- （社）…中尾校区社会福祉協議会
- （ま）…中尾まちづくり協議会
- （自）…中尾自治区会、春日台自治区会
- （民）…中尾地区民生委員児童委員協議会
- （セ）…中尾市民センター

4 重点実施項目

重点実施項目		ふれあいネットワーク活動の再構築						
1 課題背景及び現状								
<p>現在の見守り対象者は、町内会に加入している 65 歳以上の一人暮らしの方としています。しかし、支援を必要とする高齢者、子どもたち、障害のある人の世帯など、地域福祉のニーズが複雑、多様化しています。そこで、誰一人取り残さないためにも支援を必要とする世帯の把握など、日常的な見守り活動の再構築が必要になっています。</p>								
2 活動の方針・目標								
<p>連携する各機関に協力を呼びかけ、良好な関係を構築しながら、きめ細かい見守り活動が行える体制づくりに取り組めます。</p>								
3 段階的な取り組みの年次計画								
取り組み内容	連携する機関	R5	R6	R7	R8	R9	備考	
福祉協力員と民生委員との関係づくり	自治会 町内会 地区民児協 市民センター	→						
連絡調整会議への参加団体を募る	自治会 町内会 まち協 地区民児協 公園愛護会 中尾小 沖田中	→						<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の人に知ってもらう機会をつくる ・リスペクトする理念をつくる
福祉協力員の声を聞く（アンケート）	地区民児協	→						
現状調査と役割分担		→						
社会福祉施設等との交流	社会福祉施設 老人施設 小中学校 地区民児協 NPO 法人など	→						<ul style="list-style-type: none"> ・障害のあるなしに関わらず交流する ・小中学校、特別支援学校など学校見学交流会を持つ ・特別支援学校の要望（ボランティア）に参加しやすい環境をつくる
福祉協力員の活動を社協だより等で発信する（広報）	市民センター まち協 地区民児協 各団体と考える	→						・福祉協力員増員、拡大する
福祉協力員の学習会の充実	自治会 まち協 さくら会 市民センター 地区民児協	→						・福祉協力員同士の交流と学習会の開催
見守り対象者の再検討	地区民児協	→						



重点実施項目	次世代の地域福祉活動の担い手の育成と発掘						
1 課題背景及び現状							
令和4年、中尾校区の高齢化率は33.3%と、北九州市の平均(31.2%)を若干上回る程度ですが、活動者の高齢化は進み、固定化されがちな状況があります。また若い世代が地域活動に参加する機会が少ないことも課題だと考えています。							
2 活動の方針・目標							
①地域の小中学生、保護者など多世代で交流する機会を増やし、福祉に関心を持ってもらう ②若年層が継続的に地域活動に参加できる仕組みをつくる ③地域行事をイベント化する ①～③を継続的に取り組むことで、次世代の地域福祉活動の担い手の育成と発掘を目指します。							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R5	R6	R7	R8	R9	備考
三世代交流事業とサロン事業を小中学生と保護者に広報する	まち協 市民センター 自治区会 中尾小 沖田中						
三世代交流事業とサロン事業への小中学生・保護者の参加者を増やす	まち協 市民センター 自治区会 中尾小 沖田中						
家庭教育学級を支援する	市民センター 中尾小 沖田中						
小中学生がボランティア活動に参加する機会を作る	市民センター 育成会 中尾小 沖田中						
小中学生ボランティアが継続的に活動出来る★グループ★を作る	市民センター 育成会 中尾小 沖田中						
金山川清掃活動をイベント化する(沖田汁の復活など)	金山川を守る会 自治区会 まち協 育成会 沖田中 中尾小 ★グループ★と保護者						<ul style="list-style-type: none"> ・地域住人(老若男女)が認知、意識、ときめきを持てるイベント ・文化、伝統、祭り(盆踊り) ・世代間を超えた交流の場 ・金山川清掃活動の拡大、イベント化と清掃後の参加者交流の場 →対話の場づくり
中学生を地域防災活動の担い手にする 合同防災訓練実施	★グループ★と保護者 育成会 まち協 自治区会 沖田中						

★グループ★とは、市民センターの「生き生き子ども講座」に参加する子どもたちが、継続的にボランティア活動に参加できるよう、対象を中学生まで広げ、新たに結成するグループです。



第4章 計画の推進

1 地域への計画の承認と周知

計画を推進していくために、以下の計画の広報活動を行います。

- ① 校区社会福祉協議会総会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
- ② 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- ③ 計画書概要版の配布等を通じた校区住民への周知等

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、中尾校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理等について、委員会で協議を進めていきます。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

(2) 計画の進行管理

中尾校区小地域福祉活動計画推進委員会を年度に数回程度開催します。(当年度の事業推進の確認、年度内における進捗状況確認、次年度の事業確認、また必要に応じて開催)委員会では、PLAN(計画立案)DO(実行)CHECK(点検・評価)ACT(改善)というPDCAサイクルを回しながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合にはその原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

(3) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期間には新しく計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。



参考資料 【中尾校区小地域福祉活動計画の策定経過】

1 中尾校区小地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

	氏 名	所 属 団 体	役 職
1	金 田 裕 美 子	中尾校区社会福祉協議会	会長
		中尾まちづくり協議会	副会長
2	四 辻 俊 政	中尾校区社会福祉協議会	副会長
3	峰 松 正 明	中尾校区社会福祉協議会	副会長
4	小 野 貴 志	中尾校区社会福祉協議会	副会長
		中尾自治区会	副会長
5	島 崎 勝 喜	中尾校区社会福祉協議会	事務局長
		中尾まちづくり協議会	副会長
6	藤 本 絵 美	中尾校区社会福祉協議会	会計
7	加 来 修 治	中尾校区社会福祉協議会 総務・広報部会	部会長
		中尾小学校 PTA	会長
8	上 尾 康 平	中尾校区社会福祉協議会 総務・広報部会	副部会長
		中尾小学校 PTA	副会長
9	栗 丸 直 也	中尾校区社会福祉協議会 総務・広報部会	副部会長
		沖田中学校 PTA	会長
10	市 村 愛	中尾校区社会福祉協議会 総務・広報部会	副部会長
		沖田中学校 PTA	副会長
11	佐 藤 康 子	中尾校区社会福祉協議会 ふれあいネットワーク部会	部会長
12	南 千 景	中尾地区民生委員児童委員協議会	会長
		中尾まちづくり協議会	会計
13	吉 田 幸 一	中尾校区社会福祉協議会 地域交流部会	部会長
		中尾まちづくり協議会 生涯学習部会	部会長
14	山 元 恵 美	中尾校区社会福祉協議会 地域交流部会	副部会長
15	中 上 宣 子	八幡西区役所 保健福祉課 地域保健係 保健師	中尾校区 担当
16	仰 木 富 美 子	中尾市民センター	館長
17	豊 田 眞 千 子	沖田3丁目	学識経験者



2 中尾校区小地域福祉活動計画策定委員会での協議事項

回	開催日	主な協議事項
1	R4年 6月15日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・小地域福祉活動計画とは ・策定委員会構成メンバー検討 ・策定委員会開催スケジュールについて
2	R4年 8月17日(水)	第1回策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の「良い所」、「課題」と「私たちに出来る事」の抽出①
3	R4年10月19日(水)	第2回策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の「良い所」、「課題」と「私たちに出来る事」の抽出②
4	R4年12月21日(水)	第3回策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・事業項目の洗い出し ・重点実施項目の選定と年次計画について
5	R5年 2月22日(水)	第4回策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・体系図の確認 ・計画書及び概要版の構成・編集
6	R5年 3月23日(木)	第5回策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・計画書及び概要版の最終確認



.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



社会福祉協議会のイメージキャラクター

プチボザウルス Petit vo saurus



Petit (プチ：ちっちゃな)

Volunteer (ボランティア)

Saurus (サウルス≡恐竜)



中尾校区社会福祉協議会

〒807-0843 北九州市八幡西区三ヶ森 4-6-1 中尾市民センター内
TEL 093-612-3881 FAX 093-612-3903

八幡西区社会福祉協議会

〒806-8510 北九州市八幡西区黒崎 3-15-3 コムシティ 6階
TEL 093-642-5035 FAX 093-642-5077

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1-6 ウェルとばた 8階
(代表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579
(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351